



令和8年9月30日

第5号

酒田農業技術普及課
TEL 22-6521

成熟期は概ね平年並頃の見込み！ 成熟期の7日後頃に刈取開始！

I 成熟期の予想と刈取適期の目安です

各品種の開花期から見た成熟期・刈取適期の目安

品種名	開花期	成熟期※	刈取適期の目安 (成熟期の7日～20日後)
エンレイ	7月25日頃	10月7日頃	10月14日～10月27日
里のほほえみ	7月29日頃	10月17日頃	10月24日～11月6日

※「成熟期」は、圃場ごとの開花期や気温の推移により前後するため、あくまでも目安です。

- ① 成熟期の目安は、葉が黄変して落葉し、全株の80～90%の莢が変色するとともに、粒の大部分が品種固有の色になったときです。
- ② コンバインによる収穫期の判断は、成熟期から7日程度経過し、茎を揺ると莢の中で子実が「カラカラ」と音をたてる状態になったときです。なお、子実及び莢水分は18%以下が目安です。
- ③ 収穫の晩限は成熟期から概ね20日程度です。



- ④ 例年11月に入ると、降雨頻度や降雨量が増え、コンバイン収穫の機会が少なくなります。気温が下がり、日没も早まるため子実水分が低下しにくく、収穫作業時間も短くなります。できるだけ天候の良いうちに、収穫が終わるように計画的に作業を行いましょう。

※刈り遅れは、しわ粒や裂皮粒の発生による品質の低下、裂莢による減収の原因となります。大豆の状況を確認し、収穫適期になったら速やかに収穫作業に入りましょう。特に、「リュウホウ」「エンレイ」はしわ粒や紫斑粒が成熟期後比較的早い段階から増加するため、刈取適期に入ったら速やかに刈取り作業に入りましょう。

Ⅱ まずは青立ち株・大型雑草の除去徹底!

刈取前に除去が必要な厄介者たち

種 類	特 徴	対 応
青立ち株	生育の遅れにより落葉や茎水分の低下が進まない。蔓化や病虫害で莢数が少ない場合に発生。 【莢先熟】 莢は成熟に達しているが茎が青く茎水分が多い状況。	汚損粒の原因となるので、収穫前に除去。根張りが良く抜きにくいときは、刈り倒してもよい。
早 熟 株	病害の発生等で早めに落葉したものも含まれる。 【黒根腐病】 株全体が灰色で、地際部に鮭肉色の粒々が付く。株の残渣が次年度の発生源となる。	地際にカビが見え、根の生育が悪い場合は、病害の可能性があるので、圃場外に搬出。
大型雑草	大豆より草丈が高く、大豆の成熟期でも青々としている草。ホソアオゲイトウ、シロザ、オオイヌタデ、アメリカセンダングサ、オオオナモミ、イチビ等。	コンバイン収穫の邪魔になるだけでなく、種が多い。抜いて圃場外に搬出。
中型雑草	大豆程度の草丈だが、大豆の成熟期でも青々としている雑草。ツユクサ、イヌホオズキ、クサネム、サナエタデ、ワルナスビ等。	群生し多量の種が付く。大豆に絡まり収穫の妨げとなるので、抜き取り圃場外に搬出。
つる性雑草	大豆に絡まり生長する草。除去が困難で葉のポリウムが小さいため見逃され、近年発生が拡大。ヤブガラシ、アサガオ類、アレチウリ等。	除草剤が効きにくい。丁寧に取り除いて圃場外に搬出。



- ① 雑草が繁茂している部分は風通しが悪く、子実水分が低下しにくいため、成熟が遅れることがあります。
- ② 大型雑草は刈取作業の効率を低下させます。
- ③ 大型雑草やツユクサ・イヌホオズキ、大豆の青立ち株がコンバインに混入すると、茎葉・種子の汁液が大豆に付着して(汚損粒)、商品価値を大きく損ないます。
- ④ 雑草の種子がこぼれると、来年はさらに雑草の発生が多くなる場合があります。

秋季農作業事故防止運動強化期間

令和8年9月1日～ 令和8年10月31日

秋作業等において農作業事故を起こさないよう注意しましょう